

起句	01)	声細き火の番実は銀行員	以和於
	02)	懐手した影の大きさ	恆雄
	03)	社会鍋雑踏よそに呼びかけて	和子
	04)	ノエル過ぎればサンタは孤独	亶湖
月	05)	雪下ろしほつとひと息昼の月	笈羅
折端	06)	朝から入る薬草の風呂	松陽
折立	07)	芹を摘む娘(こ)に名を訊いた皇子あり	七緒
恋	08)	サッカーをする変り雛かな	以
	09)	桐箱のぜぜ貝振って天平へ	亶
	10)	金平糖の色を数える	和
	11)	北国のサマーハウスに地震くる	松
	12)	釣り上げたのは鯰一匹	笈
月	13)	月の盆サロメに首を捧げ持ち	恆
	14)	踊りのあとの七つのヴェール	七
	15)	昔はねレスクイーンよ西鶴忌	亶
	16)	何に驚く鐘の音する	以
花	17)	園遊会后(のち)の皇后花を添え	七
折端	18)	いつしか止みぬ鳥の囀り	和
折立	19)	菫咲く麓の路に手をつなぎ	恆
	20)	田螺誘って愛宕参りに	笈
	21)	NHK退社の記者に風光る	松
	22)	ゴミが出たから八億引きます。	七
	23)	坊主めぐり九十九枚目の運不運	以
	24)	お百度踏んで若水を汲む	恆
	25)	昭和帝愛でし林で賀詞交わす	和
恋	26)	バードウォッチがデートのきっかけ	松
	27)	山葡萄思わぬ高さ肩車	笈
	28)	蓑虫の糸纏んで転ぶ	恆
月	29)	オフィーリア青ざめた頬に水の月	和
折端	30)	蔦紅葉揺れるエイヴオン川に	松
折立	31)	秋高し国後択捉指呼の内	以
	32)	仇討ち続く世界史いつまで	七
	33)	富貴草(ふつきそう)我が家に絶えて早何年	笈
	34)	旧知の友の土産は雲丹	和
	35)	花の奥密かに眠る毒の花	恆
花	36)	若布漂う燃料デブリ	七